



# 哲 學 研 究

第 五 卷 第 四 冊

第 四 十 九 號

大 正 九 年 四 月 一 日 發 行

大正五年四月六日第三種郵便物認可 大正九年三月二十七日印刷納本（每月一回一〇發行）

彙報……………	優良兒教育の沿革…………… ……………文學士 伊藤 猷 典	フィヒテの歴史哲學…………… ……………文學士 久保 正 夫	美の本質（承前）…………… ……………文學博士 西田 幾 多 郎	喜劇と妄想（承前）…………… ……………醫學博士 今 村 新 吉
---------	----------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------

京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內  
京 都 哲 學 會



## 京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究會ヲ開ク
- 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
- 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名) 京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
- 一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年參圓四拾錢、前後二期ニ分ケテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

## 京都哲學會役員

### 委員

文學博士	波多野精一
文學博士	西田幾多郎
文學博士	朝永三十郎
文學士	千葉胤成
文學博士	狩野直喜
文學博士	米田庄太郎
文學博士	高瀬武次郎
文學博士	田邊元
文學士	務臺理作
文學士	植田壽藏
文學博士	野上俊夫
文學博士	松本文三郎
文學博士	深田康算
文學博士	藤井健治郎
文學博士	小西重直
文學士	澤村專太郎
寶嚴方治	

### 書記

# 會 告

近時紙價益々昂騰致し之に加へて印刷製本費又共に増額致候結果發行所の請求に依り代價値上げの事に決議致候に就ては再三の義にて誠に不本意の次第ながら來る五月以降當分の中本誌定價並會員會費左の通り相定め候間左様御諒承被成下度此段廣告仕候也

定價 一 冊 金 四 拾 錢 送 料 金 壹 錢

會費 半年分(前金) 金貳圓貳拾錢

但し本年度上半期分(自九年四月至九年九月)に限り會費金貳圓拾錢

大正九年四月一日

京 都 哲 學 會

彙報

寄贈雜誌

印度宗教總會

三月七日午後五時半より學生集會所にて松本教授の歸朝歓迎を兼ね左の講演あり。

海外旅行談

松本 教授

心理學讀書會

二月十九日

Psychological Bulletin : Religious Psychology.

文學士 石神 徳門君

二月二十六日

Jones, E. E. The Influence of bodily Posture on Mental Efficiency.

文學士 岩井 勝二郎君

Wendel, G. 天才論

千葉 助教授

社會學會例會

二月二十七日午後六時より學生集會所に於て左の講演あり

原始時代の結婚制度に就いて

村田 太平君

原始時代は一夫一婦なりしを論ぜしに對し米田先生は亂婚を主張せられたり。

哲學研究、丁西倫理講演集、心理研究、東洋哲學、六合雜誌、無盡燈、六條學報、文化運動、同志社論叢、學校教育、内外教育評論、國民教育、教育學術界、教育界、教育研究、教育時論、東京教育、静岡教育、近江教育、岐阜教育、三重教育、愛知教育、都市教育、信濃教育、佐賀教育、漢陽教育、長崎縣教育、宮城教育、愛媛教育、

## 前 號 目 次

美の本質……………	文學博士 西田幾多郎
デカートの倫理思想とカントの倫理説……………	文學博士 朝永三十郎
相對的變化發達の客觀的內觀的觀察……………	文學士 檜崎淺太郎
約翰傳福音書の宗教哲學的思想……………	文學士 日野 眞澄
心理的前定に就いて……………	文學士 務臺 理作
彙報……………	

緊急稟告

本誌定價從來參拾錢の處  
五月號より四拾錢に改正  
致候間此段謹告仕候敬具

大正九年四月

寶文館

會 告

一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ御申込被下度候  
 一、會員ニシテ轉居セラレタル節ハ直チニ其旨御報知被下度候  
 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六參番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候  
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・交換雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學  
 文學部内 京都哲學會  
 振替口座大阪參〇六六參番

價 定

廣 告 料

冊	數	定	價	郵	稅
一	冊	金	參	拾	錢
六	冊(前金)	金	壹	圓	八
十二	冊(前金)	金	參	圓	六
		拾	錢	一	不
		申			受

一頁 金拾圓 半頁 金六圓

註 文 規 定

◎會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は寶文館へ御申込下され度候  
 ◎本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下さるべく候  
 ◎振替貯金にて御送金は(東京二八〇番)寶文館宛に願上候  
 ◎前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候  
 ◎見本御入用の場合は金參拾錢御送り下され度候  
 ◎特に請求書及領收書等を要する場合は郵券三錢御送付下され度候

大正九年三月二十七日印刷納本  
 大正九年四月一日發行  
 第四十九號 第五卷 第四册



編輯者 京都帝國大學文學部内  
 右代表者 京都哲學會  
 發行者 寶嚴方治  
 印刷者 大葉久吉  
 印刷所 青柳十一郎  
 秀英舎第一工場

發 行 所

東京日本橋區本石町三丁目  
 (振替口座東京二八〇番) 寶文館

發 賣 元

東京市日本橋區本石町三丁目 寶文館  
 大阪市東區淡路町四丁目 寶文館

賣 捌 所

(東京) 東京堂、東海堂、北隆館、  
 上田屋 (大阪) 盛文館 (京都)  
 寶文館 (神戸) 寶文館

東京高等師範學校教授

文藝學博士

吉田靜致著

# 倫理學演義

布裝全一冊  
定價金六圓五拾錢  
送料金貳拾四錢

該博の知識と最新にして卓越せる見識とを以て、倫理學の巨細を詳叙せられたる本書は、既刊の倫理書中一頭地を抜き、紙數壹千參百餘頁悉く金玉の文字に滿つ。斯學の研究に志す士及び文檢受驗者諸君の是非一顧を要する好著たり。

# 倫理學要義

布裝全一冊  
定價金參圓五拾錢  
送料金拾八錢

本書は斯道新進の大家たる吉田先生が倫理學の要義を懇切に記述せられたるものにして、發賣以來好評嘖々、既に十數版を重ね。弊館は此の絶好の名著を紳士・淑女の座右にすゝむるを光榮とす。幸に一本を求められんことを望む。

東京寶文館大坂

哲學研究

第四十九號

第五卷 第四冊

大正九年(每月一回) 四月一日發行(一日發行)

(大正五年四月六日) (第三種郵便物認可)

定價金參拾錢